

がん薬薬連携に関する 研修会

実施後報告

ご参加頂きありがとうございました。

2月20日に『令和6年度第1回がん薬薬連携に関する研修会』を開催いたしました。感染対策の観点からオンラインにて開催し、21名の方にご参加いただきました。

今回は当院の管理栄養士から「がん患者の食事サポート」、薬剤師より「泌尿器科領域の抗がん薬治療について」の講演を行いました。

食事サポートについては、泌尿器科領域の抗がん薬治療時の食事から腎機能低下時の食事の注意点、がん治療中の食事量低下に関してがんの種類にかかわらず全般的な対応についてお話をいただきました。がんによる食欲低下の原因は病気からくるものだけではなく、精神症状など様々な要因がある。

「食べる＝生きる希望」につながることから食べる楽しみも重要である。栄養士のみでは食欲不振を改善することは難しいので多職種との連携が重要であるとお話をいただきました。

泌尿器領域の治療では、当院で行われているレジメンを中心に治療スケジュール、副作用等についてお話しいただきました。最近はこの領域においても抗体薬も使用されるようになり、副作用マネジメントが重要になってきており、保険薬局の先生方の協力もさらに必要となってきます。

今後がん患者への質の高い治療提供に向けて研修会を開催していきますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

